



大学院だより

大学院修了式

2022年3月15日、本館12階にて大学院修了式が、行われました。新型コロナウイルス感染流行の煽りを受けて昨年、一昨年と中止を余儀なくされていましたが、本年は感染対策を十分に施した上で、挙行されました。修了者の1名ずつの呼名と一礼、井出吉信学長の式辞の後、31名の修了者の代表として歯周病学講座の村上侑大学院生に齋藤淳大学院研究科長から修了証が授与されました。また、大学院学生会長の加藤栄助大学院生が修了者を代表して、恩師への感謝の言葉を述べました。閉式の後、一人ひとりに修了証が授与されました。また、大学院研究科長賞が歯周病学講座の村上侑大学院生に齋藤淳大学院研究科長から授与され、同窓会長賞が歯周病学講座の村上侑大学院生と中根咲大学院生に澁谷國男同窓会長から、授与されました。





歯周病学講座の村上侑大学院生に齋藤淳大学院研究科長から修了証が授与



感謝の言葉を述べる加藤栄助大学院学生会長

大学院研究科長賞

今回の修了者を対象として、大学院研究科長賞が初めて設けられた。村上侑大学院生が、最初の栄誉に選出された。齋藤淳大学院研究科長から記念メダルが授与された。

- ・村上 侑 大学院生の受賞テーマ

Healing of experimental periodontal defects following treatment with fibroblast growth factor-2 and deproteinized bovine bone mineral.

同窓会長賞

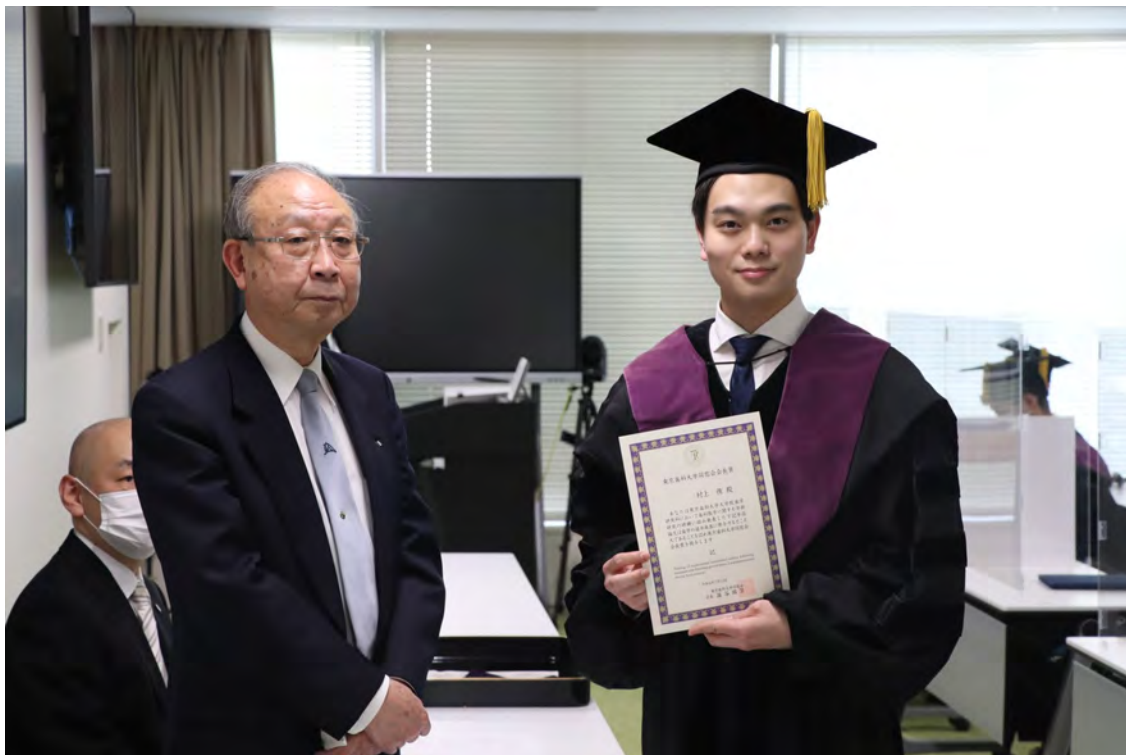
毎年恒例の同窓会長は、歯周病学講座の村上侑大学院生と中根咲大学院生が選出された。澁谷國男同窓会長から、賞状と金一封が授与された。

- ・村上 侑 大学院生の受賞テーマ

Healing of experimental periodontal defects following treatment with fibroblast growth factor-2 and deproteinized bovine bone mineral.

- ・中根 咲 大学院生の受賞テーマ

Systemic administration of cytotoxic T lymphocyte-associated antigen 4 (CTLA-4)-Ig abrogates alveolar bone resorption in induced periodontitis through inhibition of osteoclast differentiation and activation: An experimental investigation.



澁谷國男同窓会長と同窓会長を受賞した歯周病学講座の村上侑大学院生



澁谷國男同窓会長と同窓会長を受賞した歯周病学講座の中根咲大学院生



大学院研究科長賞と同窓会長賞をダブル受賞した村上侑大学院生と同窓会長賞を受賞した
中根咲大学院生、指導された齋藤淳大学院研究科長とともに



修了証を手に喜びを分かち合う修了者の面々



学生時代の恩師古澤成博教授とともに修了者の面々



励まし合って頑張った口腔健康科学講座障害者歯科・口腔顔面痛研究室の修了者の面々



指導された一戸達也教授とともに歯科麻酔学講座の修了者たち



指導された西井康教授とともに歯科矯正学講座の修了者たち

大学院修了にあたって

大学院4年(歯周病学講座)村上 侑

大学院での日々は、長くもあり短くもあり、充実した4年間となりました。大学院入学前は、研究がどんなものであるか想像できませんでした。そんな私が様々な方々の御指導のもと、無事博士課程を修了できたことを誇りに思います。

私は歯周病学講座で脈々と続いている歯周組織再生のメカニズム解明を目指した病理組織系の基礎研究に取り組みました。具体的には、塩基性線維芽細胞増殖因子(FGF-2)と骨補填材(脱タンパクウシ骨ミネラル)の併用が歯周組織治癒に及ぼす影響をin vivoおよびin vitroにて検討してまいりました。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言により、口腔科学研究センターへの立ち入り禁止の期間が約2か月ありました。研究がストップしてしまう焦りと不安を感じた期間もありました。その期間に、主任教授の齋藤教授より、「先行研究をたくさん読む、データをまとめる、論文を書く、など今だからこそ集中してできることはいくらでもある。こういった時間を如何に有効に使

えるかが重要である。」と御指導をいただきました。また、国内外の学会は中止やオンライン開催が余儀なくされましたが、逆手に取るとオンラインでの講演が一般的になり、様々な知識を得やすいチャンスに変わりました。今できること、やるべきことを明確にし、精一杯取り組む姿勢を学んだことや、実際に取り組んだ経験は自分の財産であると感じています。齋藤教授はじめ、様々な先生方の御指導もあり、研究成果は国際誌 *Biomolecules* に掲載されました。大学院のうちに国際学会に現地参加できなかったことは大変残念でした。現在は更に発展させた研究課題で日々研究に取り組んでおりますので、今後、国際学会に参加できることを願っていますし、次の論文も是非、出したいと思えます。

また、この4年間、研究以外にも臨床をはじめ、ティーチングアシスタントやリサーチアシスタント、大学院学生会などにも積極的に取り組みました。そのような活動を評価していただき、大変名誉な同窓会長賞、そして新設された大学院研究科長賞まで受賞することができました。大学院在籍中は休日もほとんどないくらい、研究に打ち込みました。御指導をいただいた齋藤教授、先輩方、共に支えあった同期、実験の準備や支援をいただいた後輩、そして様々なサポートをしてくれた家族など多くの方々のお陰であると思っています。また、研究をスムーズに行えるよう環境を整えてくださった口腔科学研究センター、動物実験施設の職員の方々にも感謝申し上げます。

まだまだ、研究者・歯科医師として未熟ではありますが、伝統ある東京歯科大学で大学院を修了したことを誇りとし、日々努力していこうと決意を新たにしております。最後になりますが、これまで御指導してくださいました井出学長、齋藤大学院研究科長、福田学生部長をはじめとする諸先生方ならびに職員の皆様に、心から御礼申し上げます。

大学院修了を迎えて

大学院4年（歯周病学講座）中根 咲

長いようであつという間だった大学院生活が終わり、博士課程を修了することができました。研究とは何かもわからない状態からスタートし、無我夢中で走り続けた4年間でした。改めて振り返ると、辛かった出来事や楽しかった思い出も充実した日々の一部であり、これまでの人生で最も濃い時間であったと感じています。

在学中は微生物学講座との共同研究で、歯周炎における細胞傷害性 T リンパ球抗原-4 (CTLA-4) の役割の解明を目指して研究を行って参りました。新型コロナウイルス感染症蔓延に伴う研究施設の閉鎖や自宅待機により、思うような活動ができずもどかしい日々もありました。しかし、自分の興味あるテーマに向かって研究を進めることができ、

自ら学ぶ楽しさを見つけました。また、学内のリサーチアシスタントや顎骨疾患プロジェクトの大学院研究助成に選出していただき、講座の垣根を越えて様々な分野の先生方と意見交換を行うことができました。研究成果は、国内外の様々な学会で発表させて頂きました。学会場の大ホールで発表したときの緊張感や達成感は、今でも鮮明に思い出されます。齋藤教授や石原教授、今村講師をはじめとする多くの先生方の熱心なご指導により、学位論文は歯周病学分野で権威と伝統ある *Journal of Periodontal Research* に掲載されました。現在は学位論文の内容をさらに発展させた研究課題に取り組んでいます。今度こそ国際学会に現地参加し、発表し、2本目の原著論文を出したいと願っています。

大学院修了にあたり、在学中の活動を評価していただき、同窓会長賞を受賞することができました。苦難を共に乗り越えてきた同期、そして色々な面で支えてくれた家族、挙げればきりが無いほど、多くの方々のおかげであることを実感しております。東京歯科大学の素晴らしい環境の中で、素敵な方々に恵まれ、この4年間を過ごせたことを、とても幸せに感じています。

今、新たなステージへと踏み出そうとしていますが、研究者としても臨床家としてもまだまだ未熟です。これまで以上に努力を惜しまず、歯科医学に貢献できるよう、精進していこうと思います。最後になりましたが、これまで御指導していただきました井出学長や齋藤大学院研究科長、福田学生部長をはじめとする多くの先生方、ならびに口腔科学研究センターや実験動物施設の職員の皆様に、心から御礼申し上げます。

大学院修了にあたって

大学院4年（口腔健康科学講座 障害者歯科・口腔顔面痛研究室）加藤栄助

未来は本当にわからない、今回大学院を修了し改めて深く思いました。私は2010年に4年制大学の社会学部を卒業し、10か月の社会人を経験した後に歯科界にまいりました。以前の大学での専攻は比較社会学であり、高校でも物理学や生物学、数学ⅢC等を全く学んでいない、アルバイトと部活動に熱中する典型的な文系学生でした。短い間ながらも働かせていただいた会社は水産加工会社で、今では自分でも信じられませんが、当時は朝早く起きデパ地下でさつま揚げを揚げておりました。その後ご縁があり歯科界に飛び込ませていただき、躓きながらも歯科医師国家試験に合格した時は本当に感激しましたが、まさかこの私が大学院の博士課程を修了するとはさつま揚げを揚げているときには夢にも思いませんでした。

そんな私の研究テーマは、末梢神経の損傷を可視化し評価することができるかです。歯科治療による三叉神経障害は感覚障害を生じ、時に異常な疼痛を引き起こし患者様のQOLを著しく低下させる大きな問題です。損傷神経の評価は患者様の主観的な感覚に頼ることが殆どですが、誰が見てもわかる客観的評価方法を模索する中で、MRIで研究をされている北海道医療大学の照光教授と共同研究をさせていただく機会をいただきました。大学院に入学前の研究に対するイメージは免疫組織染色やPCRなどの組織学・生化学的なものでしたが、私の研究はMRIの数学的なデータを基にパソコンで数式に当てはめて解析を行うという、大学院の同期の中でも一風変わった数学的なものであったと思います。今まで物理学や数学から逃げて生きてきた私にはこの課題は本当に難しく、理解できず逃げ出したくなる気持ちがこの4年間何度もありました。そんな不甲斐ない私を叱咤激励していただき、最後まで御指導していただきました照光教授、福田教授、研究を一緒に手伝っていただいた後輩の先生には本当に感謝の念に堪えません。現時点で患側神経の不均一性を示すデータが出ておりますが、臨床応用には更なる研究が必要です。最終的にこの研究が神経損傷のリスクを評価できるようになり、神経損傷患者様を一人でも減らすことができると願っております。

改めてこの世の中はわからないことばかりです。しかし、そのわからないことを考え検証し、明らかにしていくのが研究者です。大学院を修了したばかりの駆け出し研究者・臨床家ではありますが、これからも未知を明らかにすべく精進を続け、歯科界に貢献できるよう邁進してまいります。最後になりますが、これまで御指導していただきました指導医の先生方、共に励ましあった同期や後輩の先生方、サポートしていただきました大学院職員の皆様に厚く御礼を申し上げます。

学位論文題名一覧(2021年度)

	学位記番号	氏名	学位論文題名
1	2378号 (甲1544号)	橋本千明	Auricular cartilage configuration: A histological study using late-stage human fetuses and adult cadavers
2	2379号 (甲1545号)	中根 咲	Systemic administration of cytotoxic T lymphocyte-associated antigen 4 (CTLA-4)-Ig abrogates alveolar bone resorption in induced periodontitis through inhibition of osteoclast differentiation and activation: An experimental investigation

	学位記番号	氏名	学位論文題名
3	2380 号 (甲 1546 号)	中 村 ゆり子	Development of a targeted gene panel for the diagnosis of Gorlin syndrome
4	2381 号 (甲 1547 号)	村 上 侑	Healing of experimental periodontal defects following treatment with fibroblast growth factor-2 and deproteinized bovine bone mineral
5	2382 号 (甲 1548 号)	平 野 瑞 穂	Sintering distortion of monolithic zirconia in 4-unit fixed partial denture: Effect of layered structure and vertical milling area
6	2383 号 (甲 1549 号)	鈴 木 穂	Microstructural analysis of accessory canals in the furcation area of the mandibular first molar using micro-computed tomography
7	2384 号 (甲 1550 号)	中 里 晴 香	Development of optimal odontoblast culture method -FGFs, Wnt, Hedgehog, Notch pathway and immediate early gene are important for odontoblast phenotype maintenance -
8	2385 号 (甲 1551 号)	Bunpout Lekroengsin	Relationship between changes in condylar morphology and mast muscle muscle volume after skeletal class II surgery
9	2386 号 (甲 1552 号)	筒 井 新	Influence of clenching intensity with mouthguard on masseter muscle oxygen dynamics and fatigue
10	2387 号 (甲 1553 号)	伊 藤 慎一郎	Pathological differences in the bone healing processes between tooth extraction socket and femoral bone injury
11	2388 号 (甲 1554 号)	國 奥 有 希	Intracellular cAMP signaling pathway via G _s protein-coupled receptor activation in rat trigeminal ganglion cells
12	2389 号 (甲 1555 号)	齋 藤 菜 月	G _{α_s} -coupled calcitonin gene-related peptide receptor signaling axis mediates intercellular communication from trigeminal ganglion neurons to odontoblasts as axon reflex
13	2390 号 (甲 1556 号)	添 田 萌	Single-nucleotide polymorphisms of the <i>SLC17A9</i> and <i>P2RY12</i> genes are significantly associated with phantom tooth pain
14	2391 号 (甲 1557 号)	北 山 え り	Functional expression of IP, 5-HT ₄ , D ₁ , A _{2A} and VIP receptors in human odontoblast cell line

	学位記番号	氏名	学位論文題名
15	2392 号 (甲 1558 号)	神 保 泰 弘	Effects of remifentanil on hemodynamic changes and oral tissue perfusion during electrical stimulation of the mental nerve in anesthetized rabbits
16	2393 号 (甲 1559 号)	南 里 綾 乃	Effect of distance between abutment teeth and presence of intermediate abutment tooth in fixed dental prosthesis on optical impression accuracy
17	2394 号 (甲 1560 号)	菊 池 布 恵	Three-dimensional observation of the furcation area during multi-rooted tooth formation in rat
18	2395 号 (甲 1561 号)	原 田 惇 朗	Irradiation of low temperature atmospheric plasma to Ti-implant is involved in earlier wound healing of peri-implant connective tissue in rats
19	2396 号 (甲 1562 号)	稲 田 潤一郎	Two opposite effects of desmoglein 3 on the growth of oral squamous cell carcinoma between anchorage -dependent and -independent conditions
20	2397 号 (甲 1563 号)	水 野 周 平	Effect of correction of bilateral differences in masseter muscle functional pressure on the mandible of growing rats
21	2398 号 (甲 1564 号)	松 崎 勇 佑	RIOK2 contributes to cell growth and protein synthesis in human oral squamous cell carcinoma
22	2399 号 (甲 1565 号)	角 田 航	Regeneration of sensory nerve branches in extraction socket and surrounding alveolar bone in rat ~ Immunohistochemical observation of the axon and myelin sheath changes~
23	2400 号 (甲 1566 号)	西 村 達 郎	The effects of orthodontic anchor screw inserted into the femur of growth-phase or mature rats -Osteoid formation, bone mineral density, collagen fiber bundles, biological apatite crystal orientation-
24	2401 号 (甲 1567 号)	太 田 雄一郎	Comparison of the effects of various oral appliances in experimental grinding and clenching

	学位記番号	氏名	学位論文題名
25	2402 号 (甲 1568 号)	丹 沢 聖 子	Immunohistochemical observation on the distribution and morphological changes of GAP-43 positive structures in the formation of experimental apical periodontitis of rat molars
26	2403 号 (甲 1569 号)	佐 竹 奎 亮	Quercetin prevents the development of 2,3,7,8-tetrachlorodibenzo-p-dioxin-induced cleft palate in mice by suppressing CYP1A1 via aryl hydrocarbon receptor
27	2404 号 (甲 1570 号)	太 田 大 聖	Do adequate dental treatment and oral health guidance improve an infant oral microbiome at high risk of severe dental caries?
28	2405 号 (甲 1571 号)	岡 野 日 奈	Effects of Inner Structures Added by Selective Laser Sintering on the Mechanical Properties of Co-Cr Alloy.
29	2406 号 (甲 1572 号)	阪 上 隆 洋	Improving light-cured intermediate resin for Hard & Space mouthguard using glass fiber
30	2407 号 (甲 1573 号)	加 藤 栄 助	Investigation of Component Fraction According to Signal Decay Patterns Using Cluster Analysis of Multi-b Value Diffusion-weighted Images for Inferior Alveolar Nerve Damage
31	2408 号 (甲 1574 号)	清 水 廷 浩	A new proposal for improving the accuracy of intraoral scanning for partially edentulous residual ridge.

編集後記

新型コロナウイルスの流行が始まって既に2年以上の時が過ぎました。実に3年ぶりに対面での大学院修了式が挙行されました。大学院生活の多くの時間を新型コロナウイルスの流行に振り回された今年度の修了者ですが、31名全員が滞ることなく研究をやり遂げ、審査に合格し修了致しました。この貴重な経験は、修了者たちの貴重な財産となるでしょう。歯科医師として、また研究者として、当大学院で学んだことを糧として、社会に貢献できる一流の人物になって行くことでしょう。(福田 記)